

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																			
仙台総合ペット専門学校	昭和58年10月22日	菅原 一博	〒980-0014 宮城県仙台市青葉区2丁目11-20 (電話) 022-221-1112																			
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																			
学校法人 菅原学園	昭和35年3月26日	理事長 菅原 一博	〒980-0014 宮城県仙台市青葉区2丁目11-10 (電話) 022-221-1111																			
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																		
0	文化教養専門課程	動物衛生看護科	平成19年 文部科学省告示第20号	-																		
学科の目的	人と動物が調和して暮らせる社会の実現を目指す、動物の愛護と福祉の精神を持ち、身体の構造や機能、疾病の成り立ちと回復に必要な動物医療、看護に関する高度な知識と技術を身に付けた人材の育成を目指す。また、思いやりの気持ちを持ち、動物、飼い主様に寄り添うことのできる動物看護師、そして動物医療の現場のみならず、社会人として求められるマナー、挨拶、コミュニケーション能力を備えた人材の育成も目的とする。																					
認定年月日	平成27年2月25日																					
修業年限	昼夜	講義	演習	実習	実験	実技																
2	2805	1649	-	1156	-	0																
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																	
60人	46人	0人	5人	8人	13人																	
学期制度	■1学期: 4月1日～9月30日 ■2学期: 10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況を総合的に評価して行う。評価は、100点法とABCDの4段階法を併用して行う5割以上(5段階以上)の評価で合格とする。																		
長期休み	■夏 季: 7月25日～8月21日 ■冬 季: 12月24日～1月10日 ■春 季: 3月21日～4月10日		卒業・進級条件	各授業科目において、5分の4以上出席し履修が認められ、成績評価において合格し修了を認定された者に対し進級および卒業を認める。卒業については、所定の年限以上在学し、課程を修了したと認められた者とする。																		
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ・担任、科長との面談・保護者連絡の実施 ・スクールカウンセラーとの面談実施		課外活動	■課外活動の種類 スポーツ大会、文化祭、校外研修 ■サークル活動: 無 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報)																		
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) 動物病院・ペットショップ、牧場 ■就職指導内容 1年次: 業界理解・自己理解・電話応対・履歴書作成 2年次: 求人紹介・個人面談・応募書類作成 ■卒業生数 22 人 ■就職希望者数 22 人 ■就職者数 20 人 ■就職率 90.9 % ■卒業生に占める就職者の割合 90.9 % ■その他 : 90.9 % (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日 時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2級愛玩動物飼養管理士</td> <td>③</td> <td>24人</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>認定動物看護師</td> <td>③</td> <td>22人</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>ビジネス能力検定3級/4級/5級</td> <td>③</td> <td>24人</td> <td>22人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)</p>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	2級愛玩動物飼養管理士	③	24人	23人	認定動物看護師	③	22人	21人	ビジネス能力検定3級/4級/5級	③	24人	22人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																			
2級愛玩動物飼養管理士	③	24人	23人																			
認定動物看護師	③	22人	21人																			
ビジネス能力検定3級/4級/5級	③	24人	22人																			
中途退学の現状	■中途退学者 3名 平成31年4月1日時点において、在学者48名(平成31年4月1日入学者を含む)令和2年3月31日時点において、在学者45名(令和2年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 自信喪失、怠学、家庭の事情 ■中退防止・中退者支援のための取組 カウンセラーグループの設置に加え、定期的に学校満足度・学校生活意欲調査を実施し、学生一人ひとりの抱える悩みを把握し個別面談に活かしている。また、必要に応じて保護者を含め担任、科長、副校長との面談を実施している。		■中退率 6.3%																			
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 ・菅原学園 特待生制度・菅原学園 奨学金制度(給付型奨学金) ・菅原学園 各種優遇制度(部活動優遇、課外活動優遇、皆勤優遇、資格・検定優遇、親族優遇)・菅原学園 卒園児優遇制度 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																					
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																					
当該学科のホームページURL	<a href="http://www.sugawara.ac.jp/pet/">http://www.sugawara.ac.jp/pet/</a>																					

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業生に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について  
①「就職率」としては、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。  
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者や、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。  
※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留學生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業生に占める就職者の割合」の定義について  
①「卒業生に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。  
②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経済的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。  
(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

関連企業等との連携を図り、業界が求める人材と、学校が取組む人材育成が合致するよう連携をしていく。また、カリキュラムの編成にあたっては、年に2回実施する「教育課程編成委員会」の意見の他、科の教職員が関連分野の企業や卒業生の就業先へ積極的に出向き、現場が求める知識や技術、技能についての情報を収集しカリキュラムの充実を図る。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け  
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学校法人菅原学園仙台総合ペット専門学校が、実践的かつ専門的な職業教育を実施するために企業との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、教育課程(カリキュラム)の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む)に活かすことを目的として、教育課程編成委員会として位置付けている。

具体的な活用の流れとしては、学科担当がカリキュラム案を提案、教育課程編成委員会で審議されたのち副校長及び校長の許可を経て決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
赤澤 暁昌	一般社団法人 全国ペット協会 事務局長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	①
佐々木 淳子	命のリレー・アニマルサポート 猫サロン 代表	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
黒沢 久美子	DOGSALON Karen 代表	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
伊東 則道	伊達の街動物病院 院長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
柳田 恵梨	DOG SCHOOLやなぎ 代表	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③
渡邊 圭	(有)ヨネヤマ プランテーション ペットエコ仙台	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年に2回以上開催する。開催時期については、カリキュラム編成や外部委員の方々の都合等を総合的に判断して決定する。

(開催日時(実績))

第1回 令和元年12月26日 13:00～15:00

第2回 令和2年3月27日 13:00～15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

飼い主との良好なコミュニケーションを図るなど、動物病院において接遇力は大切である。このことから、学校教育でより実践に即した授業展開をすべきとの意見を頂戴した。今現在は『動物医療コミュニケーション』という科目の中で動物病院での飼い主対応について実践的に学び、提携動物病院での現場実習の中でも実際に飼い主対応を行っている。また、グルーミング実習の際の受付などを通して接遇力の向上を図る機会を設けている。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

ペット業界から求められる人材の育成を基本に、専任教員と連携企業より派遣される講師が密接な連携を図り、実習授業をとおして業界で求められる技術、知識、技能を習得した即戦力を育成する。

企業が求める技術とコミュニケーション能力の優れた学生の育成という観点から、学生の技術やコミュニケーション能力について、その習熟度を教員と講師が筆記・実技試験を通してともに確認をし、業界が求める水準までの学習方法について検討・改善を行い、効果的な教材や指導方法を研究開拓する。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容  
 ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記  
 仙台市内の動物病院と教育協定を結び、1・2年次に動物病院での現場実習を行う。校内で学んだ専門知識と技術を活かすとともに、実践力とコミュニケーション能力を養成し、また、今後の課題を見出す機会を設けている。加えて、獣医療現場で実習を行うことで、専門職に携わるという意識の涵養と、社会人・新人スタッフとしての心構えを身に付ける。指導及び評価については、教育協定先の病院長や動物看護師からいただく。なお、実習記録として作業内容や注意点、指導いただいた内容などについて学生は報告書を作成し、実習先の動物病院と学校へ提出をする。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
総合臨床実習	動物看護師には、動物医療、動物看護についてはもちろん、その他動物に関連する様々な知識の習得が求められている。そのため、多種多様な企業の現場での経験から、動物に関わる職種について実践的に学習する。	仙台市八木山動物公園 仙台市動物管理センター 那須どうぶつ王国
動物看護総合実習	診療現場での臨床経験から、より実践的な看護と専門職としての意識を身に付ける。	伊達の街どうぶつ病院 パル動物病院 ひまわり動物病院

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針  
 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記  
 職務に必要な実践的かつ専門的知識、技術及び技能習得と、広い視野の涵養を図り、優れた判断力、創造力、実行力を養い、積極的な学生等に対する指導力としなやかな感性、豊かな人間性を有する教職員を育成する。また、教職員の意識向上を図り、自己啓発を促進することを目的として行う。  
 なお、現在は「学園規定集」における「教育研修規定」を設けて運用している。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等  
 研修名「臨床現場における研修」(連携企業等:伊達の街どうぶつ病院)  
 期間:令和元年5月14日(水)～令和2年2月25日(水)※期間中の水曜日  
 内容:動物病院内での臨床実習を行い、病院業務について学ぶ  
 対象:動物衛生看護科 教員・学生

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「労働法(ワークルール)」(連携企業等:みやぎジョブカフェ)  
 期間:令和元年12月13日(金) 対象:動物衛生看護科 教員・学生  
 内容:社会で働く際に必要な知識となる労働法について学ぶ

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等  
 研修名「動物看護師の業務」(連携企業等:DVMsどうぶつ医療センター横浜)  
 期間:令和2年1月頃 対象:動物衛生看護科 教員・学生  
 内容:臨床現場における動物看護師の業務や持つべき意識について学ぶ

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「リクルートスーツセミナー」(連携企業等:みやぎジョブカフェ 主催)  
 期間:令和2年12月頃 対象:動物衛生看護科 教員・学生  
 内容:就職活動の際に着用するスーツの選び方・着方、また着用時の注意点などを学ぶ

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学生が関係業界等のニーズを踏まえた質の高い職業教育を享受するため、実践的かつ専門的な職業教育にかかる活動等を評価し、その自己評価結果を企業等の役職員及び学校関係者と評価する。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	①理念・目的・育成人材像 ②学校における職業教育の特色 ③社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想 等
(2)学校運営	①目的等に沿った運営方針が策定されているか ②運営方針に沿った事業計画が策定されているか ③運営組織や意思決定機能は規則等において明確化され、有効に機能しているか 等
(3)教育活動	①教育理念等に沿った教育課程の編成実施方針等が策定されているか ②教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか 等
(4)学修成果	①就職率の向上 ②資格取得率の向上 等
(5)学生支援	①進路就職に対する支援体制の整備 ②学生相談に関する体制の整備 等
(6)教育環境	①施設・設備 ②学内外の実習、研修についての教育体制 等
(7)学生の受入れ募集	①学生募集活動 等
(8)財務	①学校の財務基盤 ②予算・収支計画 等
(9)法令等の遵守	①法令の遵守と適切な運営 ②個人情報保護 等
(10)社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献 ②学生のボランティア活動支援 等
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

委員より「プロ意識」を持つことが大切というご意見を頂戴した。本科では1年次より学生一人ひとりが動物病院での臨床実習を行っている。このことで動物看護師(動物の命の現場で働く者)として必要な心構え(プロとしての意識)を獣医師や先輩看護師から学んでいる。また、現職の動物看護師から動物病院で働く際の心構えなどについてセミナーを通じ学んでいる。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
赤澤 暁昌	一般社団法人 全国ペット協会	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	企業等委員
佐々木 淳子	命のリレー・アニマルサポート 猫サロン 代表	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	企業等委員
黒沢 久美子	DOGSALON Karen 代表	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	企業等委員
伊東 則道	伊達の街動物病院 院長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	企業等委員
星 亮介	(有)TRC 爬虫類倶楽部 仙台店 店長	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	企業等委員
松本 久美子	ペットケア クレア仙台 代表	平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

公表時期:令和元年12月25日

URL:<https://www.sugawara.ac.jp/pet/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育の質保証・向上を図るとともに企業等の学校関係者の理解を深め、連携・協力を推進するため、学校の概要をはじめ、教育内容、評価結果等の情報を学生や保護者、関係企業や社会に向けて情報提供する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校情報の公開(目標、計画)
(2) 各学科等の教育	各科の案内
(3) 教職員	教職員数
(4) キャリア教育・実践的職業教育	資格取得・就職実績
(5) 様々な教育活動・教育環境	校舎・設備
(6) 学生の生活支援	学生寮
(7) 学生納付金・修学支援	学費について・入学サポート制度について
(8) 学校の財務	財務状況
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者報告
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	オープンキャンパス

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ)

URL:<https://www.sugawara.ac.jp/pet/>

授業科目等の概要

(文化・教養 専門課程 動物衛生看護科) 令和元年度															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当 年次・ 学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
必修	選択必修	自由選択													
1	○		パソコン実習Ⅰ	「Microsoft Word」を使用したの文書作成、広告作成をとおして、パソコンの基本操作を習得する。また、文書処理能力検定（ワープロ）の対策にも取り組む。	1・通	68	2	△		○	○	○			
2	○		パソコン実習Ⅱ	「Microsoft Excel」の基本操作を身に付け、売り上げ管理、顧客情報管理などに役立てる技術を学ぶ。文書処理能力検定試験（表計算）の対策にも取り組む。	2・前	34	1	△		○	○	○			
3	○		ビジネスマナー	社会人として必要なビジネスマナー（一般常識、職務知識、マナー・接客等）について全般的に学ぶ。また、ビジネス能力検定試験の対策にも取り組む。	1・前	34	2	○			○		○		
4	○		コミュニケーショントレーニング	ペット業界で求められる仕事への取り組み方や心構え、業界理解と接客に必要とされるコミュニケーションについてグループワークを交えながら学ぶ。	1・前	34	2	○			○		○		
5	○		キャリアデザイン	将来の仕事をイメージするための企業研究、自己理解、インターンシップや就職活動に向けた履歴書の作成方法など、就職活動の基礎について学ぶ。	1・後	34	2	○			○		○		
6	○		キャリアガイダンス	就職試験対策（筆記・面接）に加え、企業選びをする上で必要となる求人票の見方（社会保険・福利厚生）について学ぶ。	2・後	34	2	○			○		○		
7	○		愛玩動物飼養管理学	動物関連法令や動物愛護運動史、保健衛生、公害問題、動物の疾病予防、管理士の社会活動、各種動物の飼養管理、犬猫のしつけ等の知識を体系的に学ぶ。	1・前	34	2	○			○		○		
8	○		グルーミング実習	犬の健康管理に繋がるグルーミングを、実習を通して学ぶと同時に、犬の健康管理法や身体的特徴を学ぶことにより、犬に対する生態の理解を深める。	1・通	204	6	△		○	○			○	
9	○		外科動物看護学	外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの流れを体系的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する。	2・通	68	4	○			○			○	
10	○		外科動物看護実習Ⅰ	外科手術の基本的な流れを理解し、手術準備、麻酔モニタリング、手術助手及び周術期の動物管理を身に付ける。	1・通	68	2	△		○	○			○	
11	○		外科動物看護実習Ⅱ	外科動物看護実習Ⅰでの実践能力に応用力を用いて正確性、迅速性を身に付ける。	2・通	68	2	△		○	○			○	
12	○		公衆衛生学	環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する。	1・通	68	4	○			○			○	

13	○		産業動物学	産業動物の歴史や品種、飼育管理法、および畜産業など社会との関りについて学ぶ。	2・通	68	4	○			○			○
14	○		実験動物学	実験動物の歴史や品種、飼育管理法、実験動物との関わりについて学ぶ。	2・前	17	1	○			○			○
15	○		動物医療関連法規	主に獣医療現場及び動物関連の法規について学ぶ。また、その他の関連法規として、社会人で知っておくべき法規についても認識する。	2・後	34	2	○			○			○
16	○		動物医療コミュニケーション	動物病院で必要となるコミュニケーションについて学ぶ。受付対応や電話対応、また獣医療現場で好まれるコミュニケーション方法を身に付ける。	1・通	68	4	△			○	○		○
17	○		動物看護学概論	獣医療の歴史や動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する。	1・通	68	4	○			○			○
18	○		動物看護実習Ⅰ	診療現場に必要な観察力及び看護方法に関する基本的手技を身に付ける。動物の扱い方や、医療器具などの扱い方を学ぶ。	1・通	136	4				○	○		○ ○
19	○		動物看護実習Ⅱ	動物看護実習Ⅰでの実践能力に応用力を用いて正確性、迅速性を身に付ける。	2・通	136	4				○	○		○ ○
20	○		動物看護師認定試験対策	動物看護師統一認定機構主催の認定動物看護師試験の合格を目指し、答案練習や解答解説などを行う。	2・通	68	4	○			○			○
21	○		動物看護総合実習	実際に動物病院を訪れて、その病院施設の中で実習を行う。病院内で様々な症例を見学することで実践力を身に付ける。	2・通	204	6				○	○		○
22	○		動物感染症学	犬猫が感染する内部寄生虫、外部寄生虫及び微生物について学ぶ。	1・通	102	6	○			○			○
23	○		動物形態機能学Ⅰ	犬猫を中心にその体の構造、筋骨格系・呼吸器系・消化器系・循環器系・泌尿器系・内分泌系・神経及び感覚器系の機能を理解する。さらに解剖学用語を習得し生命現象を理解する。	1・通	136	8	○			○			○
24	○		動物形態機能学Ⅱ	犬猫を中心にその動物の体の構造、筋骨格系・呼吸器系・消化器系・循環器系・泌尿器系・内分泌系・神経及び感覚器系の機能を理解する。さらに解剖学用語を習得し生命現象を理解する。	2・通	68	4	○			○			○
25	○		動物行動学	主に犬猫の発生活起源、種類による特徴を知り、基本的行動様式から適性飼育と正しいハンドリング及び基本的なしつけを理解する。さらによく見られる問題行動について学ぶ。	2・前	34	2	○			○			○
26	○		動物人間関係学	人と動物の絆（HAB）の理念と動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育など社会活動について学ぶ。	2・前	34	2	○			○			○
27	○		動物繁殖学	主に犬猫の繁殖生理を理解し、性行動、妊娠、分娩及び避妊、去勢の知識を身につける。また犬猫以外の動物の繁殖生理の特徴を学ぶ。	2・前	34	2	○			○			○

28	○		動物病理学	病気が発生するメカニズムと病的変化について学ぶ。	1・前	34	2	○			○				○
29	○		動物福祉・倫理	動物愛護や動物福祉（アニマルウェルフェア）、およびその基礎となる生命倫理の考え方について学ぶ。	2・後	34	2	○			○				○
30	○		動物薬理学	薬の作用機序と有害作用並びに獣医療現場で使用される主な薬剤の特性を理解し、薬剤を正しい取り扱いを身に付ける。	2・通	68	4	○			○				○
31	○		動物臨床栄養学	5大栄養素やその代謝など基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や給餌方法など臨床栄養学を修得する。	2・通	68	4	○			○				○
32	○		動物臨床検査学	さまざまな臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方、所見の記録方法を修得する。	2・通	68	4	○		△	○				○
33	○		動物臨床検査学実習	動物病院で行われる検査について学ぶ。それぞれの検査意義を理解したうえで、検査方法を身に付ける。	1・通	136	4	△			○	○			○
34	○		内科動物看護学	犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査や採血、投薬、輸液、輸血などについて理解する。	1・前	34	2	○			○				○
35	○		伴侶動物学	伴侶動物の歴史や品種、飼育管理方法およびエキゾチックアニマルの生態について学ぶ。	1・通	68	4	○			○				○
36	○		臨床動物看護学各論	さまざまな疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。	2・通	68	4	○			○				○
37	○		臨床動物看護学総論	動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を修得する。	1・後	34	2	○			○				○
38	○		臨床動物疾病学Ⅰ	犬猫の疾病について学ぶ。様々な疾病について、発生の仕組みから、症状、治療、予防まで理解する。	1・通	68	4	○			○				○
39	○		臨床動物疾病学Ⅱ	犬猫の疾病について学ぶ。様々な疾病について、発生の仕組みから、症状、治療、予防まで理解する。	2・通	68	4	○			○				○
40	○		野生動物学	日本の野生動物の種類と保全、動物園等の展示動物について学ぶ。	2・後	34	2	○			○				○
合計						40	科目	2,737単位時間( 130 単位)							



卒業要件及び履修方法	授業期間等	
各授業科目において、5分の4以上出席し履修が認められ、成績評価において合格し修了を認定された者。また、所定の年限以上在学し、課程を修了したと認められた者とする。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	17週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。